

あいち農産物生産流通レポート

平成28年11月号

	ページ
◎ 地域トピックス ・ 幻のトマトで作られたルネッサンストマトスープを紹介します (新城設楽農林水産事務所)	1
◎ 東日本情報 ・ 在京流通行政連絡会で6次産業化優良事例を視察 (東京事務所)	2
◎ 西日本情報 ・ 愛知県卸売市場整備計画(第10次)の策定について (食育推進課)	4
◎ フラワーページ ・ 「第13回 国際フラワーEXPO」が開催 (東京事務所)	6
◎ 青果 ・ 愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場) ・ 名古屋・東京市場における青果物の11月の見通し	9 10
◎ 花き ・ 切花・鉢花の11月の見通し(県内市場)	22
◎ 輸出入 ・ 主要農林水産物の輸出入実績(2016年8月)	27
◎ 関連指数	

※ 今月、「情報サロン」はありません。

内容についての問合せ先

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6719

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

幻のトマトで作られたルネッサンストマトスープを紹介します

新城設楽農林水産事務所

ルネッサンストマト生産者で組織するRPG（ルネッサンストマトプロモーショングループ）の加工商品「ルネッサンストマトスープ」について紹介します。



○ルネッサンストマトとは

スープの主役「ルネッサンストマト」は、愛知県農業総合試験場と株式会社サカタのタネが共同開発した品種で、先がツンと尖った特徴的な形をしており、果皮が柔らかく果肉がしっかりしたトマトです。国内でも生産量が極めて少ないことから「幻のトマト」と呼ばれ、出荷販売を行っているのは、設楽町納庫地区だけです。RPGの4戸が約1haの栽培規模で夏秋トマトとして生産しており、イオンへ契約出荷するほか、地元直売所などでも販売しています。

RPGでは、ルネッサンストマトの知名度を高めるため、出荷規格外品を有効活用した加工品の開発をしています。ルネッサンストマトスープもその加工品の一つです。

○ルネッサンストマトスープ

「メンバーとその家族を巻き込んで、納得する商品ができるまで何度も試作品を作った。」とRPG代表後藤敬氏。その試行錯誤を経て完成された商品は、この地域で作られたルネッサンストマトの特徴である酸味と甘味が凝縮された自慢の一品です。酸化防止剤、防腐剤を使用せず、たまねぎ、にんにく、ベーコンなどを配合し、上品な味わいに仕上げられています。味にこだわりながらも、価格は消費者層を考慮しリーズナブルに設定し、「東京から個別に注文があった」と着実にリピーターを掴みつつあります。温かいスープはこれからの寒い時期にピッタリ。冷やして食べてもおいしく味わえます。お求めは下記の販売店舗まで。

○販売店舗

- ・JA愛知東管直売所（グリーンセンターしんしろ、こんたく長篠、東栄直売所、Aコープ）
- ・道の駅「もつくる新城」、「アグリステーションなぐら」
- ・サークルK（設楽町清崎店）

○販売価格

- ・1パック（150g） 248円（税込）

在京流通行政連絡会で6次産業化優良事例を視察

東京事務所行政課農産物流通対策グループ

東京に事務所を有する21県の農産物流通担当者と組織する在京流通行政連絡会では、流通行政に係る情報交換並びに先進地視察等を定期的に行っています。平成28年9月28日（水）に茨城県行方市にある「なめがた^{なめがたし}ファーマーズヴィレッジ」を視察しましたので、その概要を報告します。

1 なめがたファーマーズヴィレッジの概要

なめがたファーマーズヴィレッジは、昨年10月30日にオープンしました。JAなめがたと白ハト食品工業(株)が連携し24年に設立した、農業生産法人(株)なめがたしろはとファームが運営しています。

この施設は、行方市立大和第三小学校廃校跡地（右写真）を利用して、さつまいも（甘薯）の加工工場（なめがたおいもファクトリー）や直売所、レストラン、カフェ、体験・交流施設（やきいもミュージアム等）を備えています。



なめがたファーマーズヴィレッジの外観

来場者数は、土曜日及び日曜日には1,200人以上あるそうで、視察した日の昼時には、はとバスツアーの参加者が来場していました。

2 JAなめがたのさつまいも栽培

茨城県は鹿児島県に次ぐ全国第2位のさつまいも産地になります（表1）。

JAなめがたでは、25年度にさつまいもの総生産量17,823tの約6%にあたる1,075tを加工用として白ハト食品工業(株)に供給しており、大手コンビニエンスストア

表1 茨城県の甘薯栽培状況（第90次農林水産統計表*より）

☆作付面積	6,680ha（第2位）
	（①鹿児島13,400ha、③千葉4,290ha）
☆収穫量	173,000t（第2位）
	（①鹿児島336,300t、③千葉108,500t）

※期間：平成27年1月～28年3月

アチェーンで人気のある「大学いも」の原材料にも使われているそうです。組合長は、「集荷したさつまいもをなめがたファーマーズヴィレッジに出荷している。加工用さつ

まいものキュアリング倉庫も、なめがたファーマーズヴィレッジのオープンと同時期に竣工し、さつまいもの販売額は35億円とJAの農産物販売額の1/3を占めるようになった。また、それに伴いさつまいも栽培の規模拡大を図る農業者が増えている。」などと紹介され、さつまいも栽培に大いに期待されていました。

3 なめがたファーマーズヴィレッジの効果

なめがたファーマーズヴィレッジがオープンした効果として、

☆JAの加工向けさつまいも需要が高まり、農業者の生産意欲が増大した。

☆正社員40名含め約150名の地域雇用が新たに生まれた。

☆企業の持っている加工技術や販売ネットワーク等を活用し、産地と企業が「WIN-WIN」の関係を築いた。

☆人の往来が多くなった。

などが挙げられ、6次産業化のモデル的な取組であると思われました。6次産業化は販路に苦労するといわれています。企業とのマッチングによってその強みを活かし、地域に新たな産業を生み出すことは、農業生産振興にもつながり、大いに参考になる取組だと思われました。

愛知県卸売市場整備計画（第10次）の策定について

1 整備計画策定の経緯

都道府県は、卸売市場法に基づき、当該都道府県における卸売市場の整備を図るための計画を定めることができるとされており、内容は国が定める卸売市場整備基本方針及び中央卸売市場整備計画に即するものでなければならないとされています。

国においては、平成28年1月に卸売市場整備基本方針を、同4月に中央卸売市場整備計画を策定・公表しました。

愛知県においても、これらに即して、卸売市場を巡る情勢の変化等による課題に対応しながら、生鮮食料品等の円滑な供給と県民生活の安定に寄与するという卸売市場の役割を果たすための県内卸売市場の整備・運営の基本指標となる愛知県卸売市場整備計画を、平成28年8月19日に策定しました。

この計画は、昭和47年に第1次計画が策定され、その後概ね5年ごとに見直しを行っており、今回で第10次の計画となり、目標年度は平成32年度としています。

2 第10次整備計画のポイント

(1) 地方卸売市場の経営の安定化

ア 各市場において、市場関係者が一体となり、当該市場の実情に合わせて、経営展望の策定等による経営戦略を確立を進めます。

イ 整備・統合等による、卸売市場の適正な配置や市場間連携による、集荷・販売力の強化を推進します。

○ 目標年度における整備計画市場数

区分	平成28年6月末の市場数				整備計画（平成32年度目標）								
					卸売市場法上の区分			整備計画上の区分					
	中央	地方	未満	合計	中央	地方	合計	中核	拠点	地区	産地	合計	
総合	2	4		6	2	7	9	2	7			9	
青果		20	1	21		10	10		2	8		10	
消費地		2		2		1	1		1			1	
産地		13	4	17		11	11				11	11	
食肉	1	2		3	1	2	3	2		1		3	
花き		8	8	16		3	3	2		1		3	
合計	3	49	13	65	3	34	37	6	10	10	11	37	

※「消費地」は水産物消費地市場、「産地」は水産物産地市場、「未満」は規模未満

○ 整備計画上の市場区分とその機能

中核市場：県内を始め広く隣県までの需給調整機能及び価格形成機能を持つ卸売市場

拠点市場：地域の拠点的な役割を担う地方卸売市場

地区市場：中核市場、拠点市場の補完的機能及び地場流通機能を持つ地方卸売市場

産地市場：産地価格の形成と消費地への再出荷の中継基地として主要漁港に配置する生鮮水産物の卸売市場

ウ 県は卸売業者に対する指導監督についての指標、財務基準等を定め適切な指導を行います。

(2) 地方卸売市場の機能強化

ア 取引情報の公開を推進し、公正かつ効率的な取引の確保を図ります。

イ 生産者や実需者との連携強化に向けた情報の受発信及び企画開発力の強化、生産者の育成を推進します。

また、卸売市場の活性化に資する場合は、6次産業化や農商工連携への取組への積極的な参画、農林水産物の輸出に係る拠点として積極的な機能発揮の取組を推進します。

(3) 卸売市場の役割、機能に対する理解の醸成

消費者等との交流を通じた地産地消、食育活動等の取組を推進します。

(4) 消費者等の多様化するニーズへの対応

ア 需要の小口化、食の簡便化に対応した加工処理施設、配送施設等の整備を推進します。

イ 食の安全・安心に対応した低温（定温）卸売場の整備、品質管理の高度化に関する規範の策定やHACCP、MP S等の段階的導入など、品質管理体制の強化を推進します。

(5) 卸売市場に対する社会的要請への対応

ア BCPの策定や自治体等との協定の締結など緊急事態への対応強化の取組を推進します。

イ 環境負荷の軽減に資する施設の整備等を推進します。

「第13回国際フラワーEXPO」が開催

東京事務所行政課農産物流通対策グループ

1 はじめに

平成28年10月12日(水)から14日(金)の3日間、幕張メッセ(千葉市美浜区)において、アジア地域最大級の花き産業総合展示会「第13回国際フラワーEXPO(IFEX)」が開催されました。

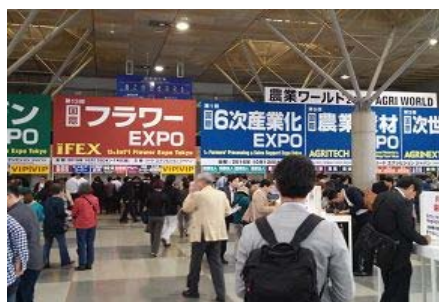
この展示会では、本県の花き関係事業者が多数出展したほか、切花、鉢物品種のコンテスト、フラワーアレンジメントショーなど様々なイベントが実施されました。

また、この展示会は「第6回農業資材EXPO」等、関連する6つの展示会と合同開催されたこともあり、多くの来場者で賑わいました。

2 本県花き生産者も多数出展

「花生産者フェア」ゾーンでは、本県の鉢物生産者の出展が多数ありました。具体的には、観葉植物等を生産する(有)三浦園芸や山下園芸、洋らん等を生産するスズキラン園、(株)リーフ等が出展していました。

各ブースとも多くの来場者で賑わうなか、豊橋市で洋らん生産を行う(株)リーフの代表取締役の尾崎氏からは、今回の出展に際し「チャンスは待っていてもやってこない。こちらから向かっていかないと！」との意気込みが聞かれました。同社のブースには金箔やラメを吹き付けた胡蝶蘭が大きく展示され、多くの来場者が足を止めて、見学や商談を行う姿が見られました。



会場の様子



(株)リーフの金箔胡蝶蘭

3 フラワーアレンジメントショー

10月13日(木)には、「ブライダル・コーディネート最新のトレンド」と題して、ウェディング装花や空間装飾等の分野で著名な江口美貴氏により、フラワーアレンジメント作成の実演が実施されました。

江口氏によると、近年の花き装飾におけるトレンドは“盛りだくさんの花きを使う



フラワーアレンジメントショーの様子

装飾”から、フレームやボックスを活用しながら、インテリアとして“少量の花きをさりげなく使う装飾”へと変化しているとのこと。中でも、ガーデンのハーブなどを使用する“ボタニカルな雰囲気”の装飾が多く見られるようになっているとの指摘がありました。江口氏自身は“盛りだくさんの花きを使う装飾”が好みとのことですが、「“少量の花きをさりげなく使う装飾”は節約志向の表れでもあり、残念な気もする。」と話していました。

制作された作品は、“盛りだくさんの花きを使う装飾”が好みというだけあり、様々な花材を使用したボリューム感のある作品となりました。

4 さいごに

この展示会は、花き生産者をはじめ農業資材関連事業者や種苗事業者など様々な事業者が出展することもあり、トレンドを捉え、ビジネスを拡大していくための絶好の機会といえます。

今回出展された本県生産者においても、本イベント出展を機に新たな取引拡大があることを期待したいと思います。



完成したアレンジメントと江口氏(写真左側)

愛 知 産 青 果 物 の 動 向

○ 名古屋市中央卸売市場（品目：ぎんなん）

	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産	愛知産	
27年実績	134	132 (99%)	759	746 熊本 (1%)
28年見通し	150	—	680	—
概要と見通し		卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>ほぼ愛知県産の入荷となる。今年は台風などの被害もなく、実の付きがいい。そのため数は多いが、実は小さめとなっている。サイズはM、Lが6割で、2L以上の大粒が少ない。 入荷量は前年をかなり上回り、単価は前年をかなり下回る。</p>		<p>出荷については、選別に個人差がないように、品質をそろえて欲しい。また、料理での用途が茶わん蒸しだけでなく、他の料理でも使われるように消費宣伝のイベントや、クックパッドのようなスマートフォンで見られるようなレシピを考案するなど、もっと食べてもらえるような提案をしていって欲しい。</p>		

○ 東京都中央卸売市場（品目：カリフラワー）

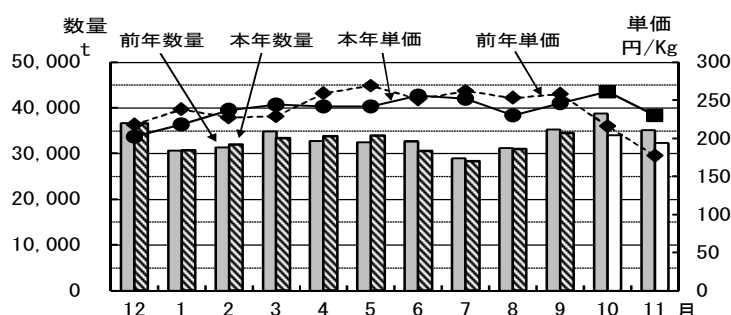
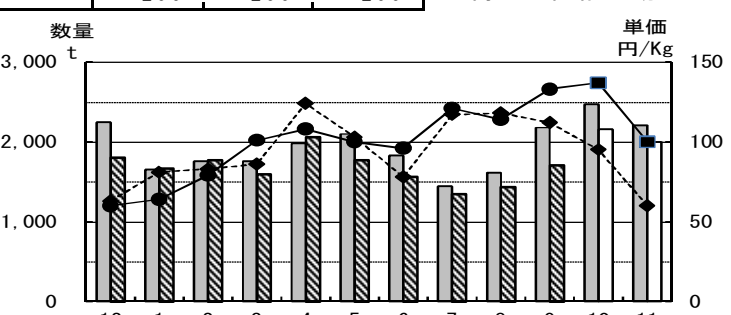
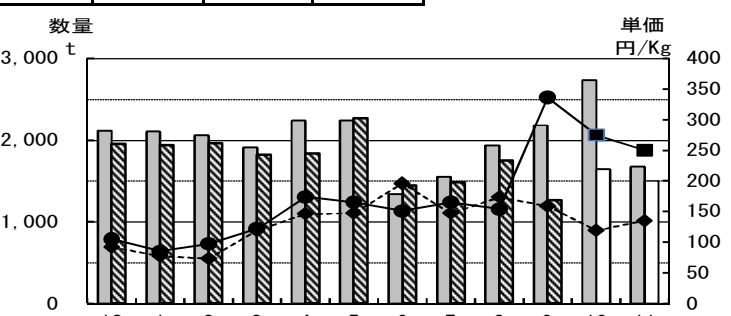
	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産	愛知産	
27年実績	3,818	230 (6%)	237	223 茨城 (16%) 埼玉 (11%) 長野 (11%)
28年見通し	3,300	—	260	—
概要と見通し		卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>本県産の入荷は10月から始まり、例年2月、3月にピークを迎える。 本年は、前年が入荷前倒しだった影響で前半の入荷量が少なく推移した。9月の曇雨天の影響で秋冬作に大きな山はこない見込み。神奈川は品目転換で作付面積が増えており前年以上の見込み。 入荷量は多かった前年をかなり下回り、価格はかなり上回る見込み。</p>		<p>本県産は、量的には少ないものの高品質で高く評価されている。カリフラワーは業務色が強い品目なので、中心等級である8玉中心で安定した出荷をお願いしたい。 消費宣伝では、ブロッコリーやニンジンなどと併せ、彩りとして一般家庭向けに提案するなどしていくことで需要を喚起してほしい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の11月の見通し

名古屋市中央卸売市場

10月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜	23年	34,086	227	241	211	北海道 33%	
	24年	35,272	171	165	171	愛知 21%	
	25年	34,141	182	181	176	茨城 10%	
	26年	32,804	233	230	242	長野 9%	
	27年	35,109	177	0	0		
	計	5ヵ年平均	34,282	198	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
28年見通し	32,300	230	—	—			
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
土ものは北海道、葉菜類は地元中心、果 菜類は西南暖地からの入荷になる。どの品 目も9月の長雨による日照不足の影響を受 けて、出荷の出だしが遅れ、品質的にも良 くないが、後半に向けて回復してくる。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前 年を大幅に上回る見込み。							
だい こん	23年	2,651	64	80	60	56	愛知 60%
	24年	2,245	67	73	66	63	千葉 25%
	25年	2,387	95	97	99	94	青森 6%
	26年	2,075	61	63	64	64	新潟 3%
	27年	2,210	60	81	57	50	北海道 2%
	計	5ヵ年平均	2,314	70	79	69	65
28年見通し	2,000	100	100	100			
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
愛知、千葉を中心に入荷し、青森、北海 道の終盤ものが入る。愛知は9月の長雨で 作業が遅れており、やや遅れてスタートす る。数量的にはやや少ない。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前 年を大幅に上回る見込み。							
にん じん	23年	2,080	107	122	117	95	北海道 59%
	24年	1,907	97	95	106	100	愛知 22%
	25年	2,101	156	147	196	208	青森 9%
	26年	1,907	90	79	91	108	岐阜 7%
	27年	1,672	135	135	143	129	千葉 1%
	計	5ヵ年平均	1,933	117	116	131	129
28年見通し	1,500	250	300	250	200		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
北海道を中心に愛知、岐阜などから入荷 する。11月は全体として少ない月である が、北海道は台風、大雨の影響で少ない。 愛知、岐阜も9月の長雨の影響で遅れてい る。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前 年を大幅に上回る見込み。							

注) 「ねぎ」は「こねぎ」を含む。
「なす」は「長なす」と「べいなす」を含む。

東京都中央卸売市場

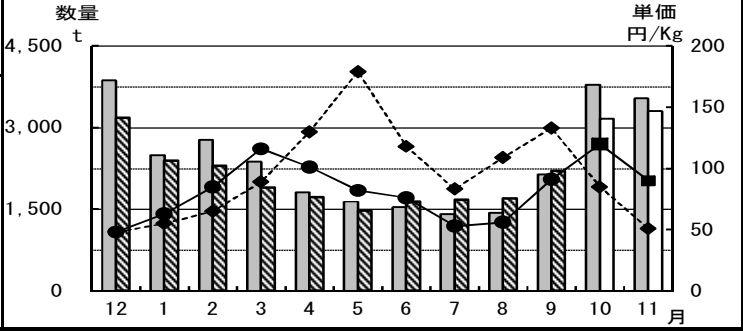
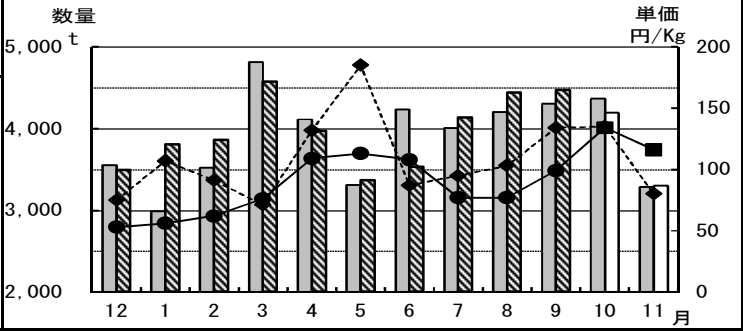
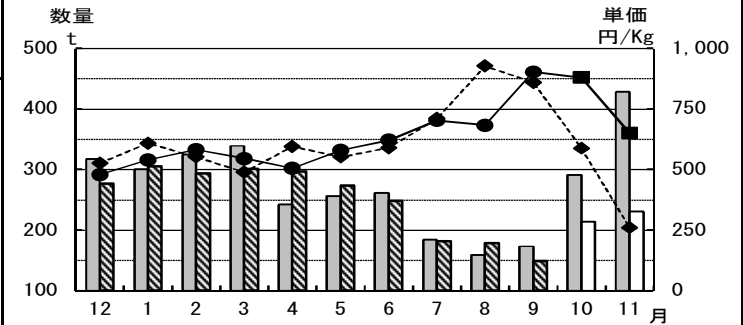
10月28日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	23年	127,371	183	193	173	184	千葉 21%
	24年	129,972	199	198	198	200	茨城 20%
	25年	125,287	250	245	247	256	北海道 17%
	26年	126,336	196	189	191	211	埼玉 4%
	27年	127,700	195	209	188	188	群馬 4%
	5ヵ年平均	127,333	204	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	122,000	280	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地からの入荷が中心で、土もの類は前月に続き北海道からの入荷となり、果菜類は西南暖地からの入荷が増えてくる。台風とその後の曇雨天の影響で秋冬産地の出回りが遅れている。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
だいこん	23年	12,415	58	71	56	47	千葉 68%
	24年	12,878	60	66	56	57	神奈川 15%
	25年	12,654	90	89	94	87	茨城 9%
	26年	13,180	52	51	50	55	青森 3%
	27年	12,726	54	71	51	41	栃木 1%
	5ヵ年平均	12,771	63	69	61	57	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	12,200	103	120	100	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉を中心に神奈川、茨城などから入荷する。千葉、神奈川は曇雨天の影響で生育は遅れ気味。千葉は中旬頃から数量がまとまってくる見込み。神奈川は他品目への転換が一部地域でみられる。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
にんじん	23年	7,713	99	87	95	114	千葉 58%
	24年	7,763	124	112	119	137	北海道 30%
	25年	6,843	162	138	165	182	青森 5%
	26年	7,883	85	78	89	89	埼玉 3%
	27年	7,686	124	121	133	120	中国 1%
	5ヵ年平均	7,578	118	106	119	127	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	7,300	260	270	270	240	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉、北海道からの入荷が中心となり、関東産地からの入荷が増えてくる。千葉は台風の影響で冠水や欠株が発生し、作付け減で生育は遅れ気味。北海道も台風の影響があり出荷は少なくなる見込み。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	23年	3,906	47	53	42	49	茨城 38%
	24年	3,600	53	62	51	47	愛知 30%
	25年	3,466	88	91	101	76	長野 29%
	26年	3,658	40	38	43	42	岐阜 2%
	27年	3,535	51	66	50	39	
さい	5ヵ年平均	3,633	55	62	57	50	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	3,300	90	90	90	90	
い	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>茨城、愛知、長野から入荷する。各産地ともに9月の日照不足の影響で生育が遅れている。今後の北海道の需要状況によっては品薄になる恐れがある。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>						
キヤベツ	23年	4,113	63	78	57	57	愛知 58%
	24年	4,055	46	48	45	47	茨城 27%
	25年	3,882	115	108	113	127	長野 5%
	26年	3,749	63	55	61	78	秋田 3%
	27年	3,285	80	119	75	50	北海道 2%
べつ	5ヵ年平均	3,817	73	80	70	72	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	3,300	116	150	120	80	
う	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>愛知、茨城を中心に入荷する。愛知の作付けは例年並みで、寒玉の割合が増えている。全体としてはやや小玉傾向。中旬以降に増えてくる予想。 入荷量は前年並、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>						
ほうれんそう	23年	483	269	345	231	282	愛知 69%
	24年	273	526	505	510	585	岐阜 23%
	25年	199	770	791	767	775	茨城 3%
	26年	311	465	453	452	520	長野 2%
	27年	428	260	391	252	219	静岡 1%
ん	5ヵ年平均	339	403	455	385	417	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	230	650	700	650	600	
そう	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>愛知、岐阜を中心に入荷する。各産地ともに9月の長雨の影響で、は種等の作業が出来ていなかったため、上旬は特に数量が少ない。中旬以降に増えてくる見込み。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>						

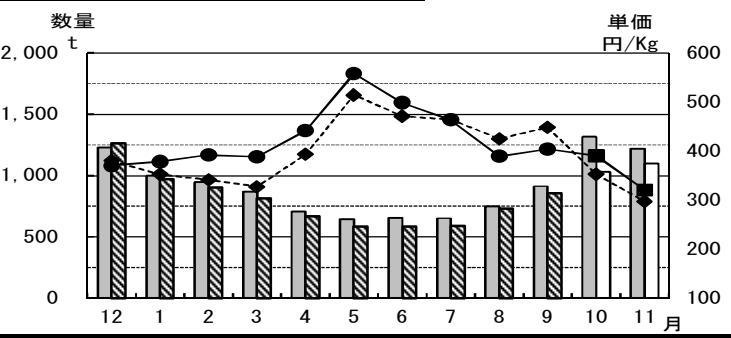
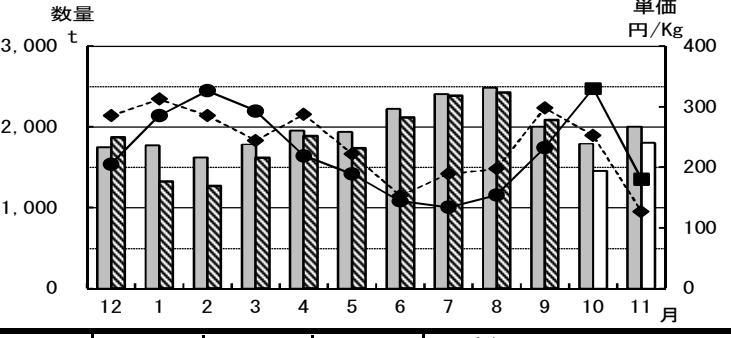
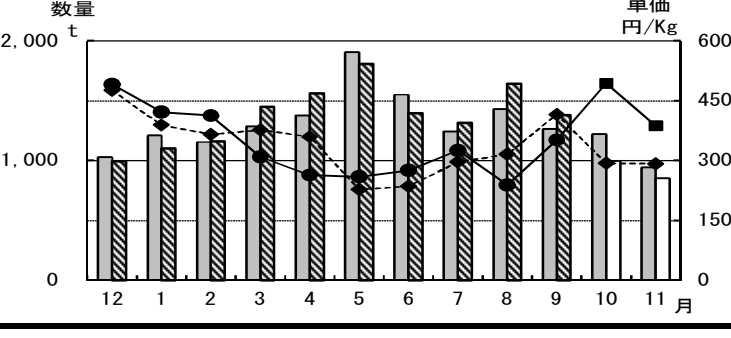
東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	23年	12,727	35	42	32	31	茨城 80%
	24年	13,079	42	50	39	37	長野 13%
	25年	13,853	75	79	84	63	群馬 4%
	26年	11,922	33	33	34	33	北海道 2%
	27年	11,706	47	60	45	35	
さい	5ヵ年平均	12,657	47	53	48	40	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	11,400	80	110	80	50	
い	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>茨城を中心に長野などから入荷する。茨城は生育はまちまちだが曇雨天の影響で遅れ気味。中旬頃から増量するが小玉出荷の割合が高くなる見込み。長野は出荷終盤を迎える。</p> <p>入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>						
キヤベツ	23年	13,459	61	73	55	56	千葉 46%
	24年	14,000	49	47	47	52	愛知 18%
	25年	13,300	113	96	112	132	茨城 17%
	26年	12,682	63	53	59	79	群馬 6%
	27年	13,583	83	114	81	57	神奈川 6%
べつ	5ヵ年平均	13,405	74	77	71	75	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	13,000	120	140	120	100	
う	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>千葉、愛知、茨城からの入荷が中心となる。各産地とも曇雨天の影響で生育遅れや根傷み、黒腐病等病害が散見され、小玉傾向。天候回復が期待される。群馬は出荷終盤を迎える。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>						
ほうれんそう	23年	1,938	253	324	198	239	群馬 40%
	24年	1,604	461	451	426	517	茨城 19%
	25年	1,255	651	640	648	662	千葉 13%
	26年	1,610	426	413	382	499	埼玉 12%
	27年	1,895	295	342	273	272	栃木 8%
ん	5ヵ年平均	1,660	396	418	363	415	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	1,750	490	550	500	420	
う	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>群馬、茨城など関東産地からの入荷が中心となる。各産地とも曇雨天の影響で生育は軟弱気味となり、露地では、は種の遅れがみられた。天候回復が期待される。群馬は上旬頃から露地ものが増量してくる。</p> <p>入荷量は前年をかなり下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>						

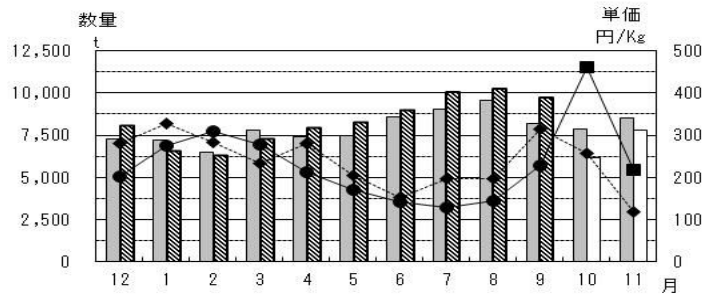
名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	23年	1,380	239	239	257	北海道	25%
	24年	1,311	323	327	320	長野	19%
	25年	1,194	368	359	389	富山	10%
	26年	1,213	288	280	330	鳥取	8%
	27年	1,219	297	305	325	愛知	7%
	5ヵ年平均	1,264	301	301	322	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	28年見通し	1,100	320	320	320		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道、長野、富山、鳥取などの白ねぎが中心に入荷する。北海道は9月の大雨の影響で2割程少ない。愛知の越津も長雨の影響で生育は良くない。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>							
し	23年	1,631	141	111	166	兵庫	47%
	24年	1,362	226	203	280	茨城	35%
	25年	1,498	311	284	370	愛知	10%
	26年	1,871	150	132	202	静岡	3%
	27年	2,002	127	111	140	長野	2%
	5ヵ年平均	1,673	184	162	223	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	28年見通し	1,800	180	160	190		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>兵庫、茨城を中心に愛知などから入荷する。各産地ともに9月の日照不足の影響で品質は良くない。価格は高めで推移しているが、下旬に向けて落ち着いてくる。愛知も雨で定植が遅れて少なめ。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>							
き	23年	1,014	374	354	388	愛知	31%
	24年	978	346	348	324	群馬	22%
	25年	897	458	306	351	宮崎	19%
	26年	853	385	386	410	山梨	8%
	27年	941	291	258	386	高知	6%
	5ヵ年平均	937	370	323	371	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	28年見通し	850	386	400	380		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>群馬、山梨から愛知、宮崎などの西南暖地へ切替わる。鹿児島は台風の影響を受けている。他産地は日照不足だが、出荷には大きな影響はなく、順調な入荷を見込む。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	23年	6,360	199	191	185	221	青森 15%
	24年	6,219	295	304	306	276	秋田 13%
	25年	6,578	302	284	308	315	茨城 9%
	26年	6,004	244	233	245	267	新潟 9%
	27年	5,598	279	273	277	287	千葉 9%
ねぎ	5ヵ年平均	6,152	264	257	264	273	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	5,400	300	350	270	280	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>青森、秋田は出荷最盛期を過ぎ、茨城など関東産地からの入荷が本格化してくる。青森は台風の影響で下物が多くなる見込み。秋田は生育は概ね良好。千葉は曇雨天の影響で細物が多くなる見込み。</p> <p>入荷量は少なかった前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
しそ	23年	7,594	126	134	95	151	茨城 62%
	24年	6,335	205	176	185	266	兵庫 9%
	25年	6,970	285	255	249	349	静岡 6%
	26年	7,384	135	111	118	185	香川 6%
	27年	8,563	117	128	94	132	栃木 5%
しそ	5ヵ年平均	7,369	169	158	144	211	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	7,800	217	250	200	200	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>茨城を中心に兵庫、静岡などから入荷する。茨城は曇雨天の影響で生育は遅れていたが好天で回復傾向。兵庫、香川は9月の降雨で定植作業が遅れ、苗質悪く小玉傾向で出荷減の見込み。</p> <p>入荷量は多かった前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
きゅうり	23年	4,798	359	344	332	397	埼玉 28%
	24年	4,792	349	361	336	347	群馬 21%
	25年	4,551	462	572	438	398	宮崎 15%
	26年	4,547	394	344	414	431	千葉 9%
	27年	4,784	140	249	269	418	高知 8%
きゅうり	5ヵ年平均	4,694	339	372	356	398	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	4,600	360	380	360	340	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>埼玉、群馬、宮崎からの入荷が中心となる。埼玉、群馬は曇雨天の影響で樹勢は弱めで推移。宮崎、高知は台風の影響で定植作業が遅れた地域がある。千葉は促成作型が中旬頃から数量がまとまってくる。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な	23年	588	281	262	287	310	愛知 47%
	24年	471	362	339	379	384	熊本 42%
	25年	416	460	454	458	450	高知 6%
	26年	441	405	384	408	431	山梨 3%
	27年	469	346	335	347	365	徳島 3%
す	5ヵ年平均	477	364	348	369	382	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	440	350	350	350	350	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>愛知、熊本を中心に入荷する。千両、長なすが入るが、天候不順による着果不良などで上旬は少ない。下旬に向けて増加してくる見込み。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年並である見込み。</p>							
ト マ	23年	783	398	444	367	412	熊本 55%
	24年	823	518	570	576	427	愛知 21%
	25年	834	465	422	465	521	三重 10%
	26年	1,116	322	332	313	321	岐阜 9%
	27年	1,361	267	336	261	219	石川 1%
ト	5ヵ年平均	984	376	406	377	359	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	1,100	350	400	330	320	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>熊本、愛知、三重、岐阜などを中心に入荷する。夏秋作はほぼ終了し、冬春産地の入荷となるが、9月の日照不足で前半は少ない。抑成作は小玉傾向。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>							
ミ ニ ト マ	23年	282	673	712	648	639	熊本 53%
	24年	282	959	1,154	904	805	愛知 34%
	25年	324	756	727	748	774	宮崎 6%
	26年	355	658	702	628	613	和歌山 4%
	27年	453	580	772	582	443	北海道 2%
ト	5ヵ年平均	339	709	802	688	635	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	400	660	800	650	550	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>熊本、愛知を中心に入荷する。夏秋作はほぼ終了する。大玉同様に9月の日照不足の影響で前半は少ない。また、コナジラミが多く、小玉傾向となっている。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	23年	2,654	342	312	320	410	高知 57%
	24年	2,423	371	325	372	431	福岡 14%
	25年	2,187	472	484	451	485	栃木 10%
	26年	2,346	379	320	361	492	群馬 5%
	27年	2,600	343	311	354	371	熊本 4%
	5ヵ年平均	2,442	378	347	369	435	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
28年見通し	2,600	390	390	390			
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>高知を中心に福岡、栃木などから入荷する。高知は生育良好で順調出荷が期待できる。福岡は曇雨天の影響で着果数が少なく中旬頃から出荷増の見込み。栃木は出荷終盤を迎える。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
ト マ ト	23年	5,088	411	435	375	426	熊本 40%
	24年	4,774	554	591	613	462	千葉 18%
	25年	4,602	480	424	475	545	愛知 12%
	26年	5,649	343	335	333	364	茨城 7%
	27年	6,903	292	359	278	252	栃木 5%
	5ヵ年平均	5,403	403	420	401	395	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
28年見通し	6,000	450	500	450	400		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、千葉、愛知からの入荷が中心となる。熊本と本県からの入荷が本格化する時期だが9月の曇雨天の影響で小玉傾向。前年より出荷減の見込み。千葉は越冬作型の出荷が始まり生育良好。</p> <p>入荷量は多かった前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	23年	1,260	640	671	611	634	熊本 32%
	24年	1,281	915	1,136	834	780	愛知 19%
	25年	1,519	681	677	670	695	茨城 9%
	26年	1,686	572	608	544	563	千葉 8%
	27年	2,137	551	709	531	432	宮崎 7%
	5ヵ年平均	1,577	654	745	623	600	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
28年見通し	1,900	850	1,000	850	700		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、愛知、茨城などからの入荷が中心となる。熊本は9月の曇雨天の影響で小玉傾向。着果不良が散見される。本県も小玉傾向でM中心の見込み。好天での生育回復が期待される。</p> <p>入荷量は多かった前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	23年	447	306	295	333	354	鹿児島 43%
	24年	509	236	279	271	242	宮崎 41%
	25年	459	470	515	486	433	高知 8%
	26年	488	302	366	320	304	茨城 5%
	27年	549	228	267	236	252	岩手 2%
マ	5カ年平均	490	304	341	324	313	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	500	320	340	320	300	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>東北産地から鹿児島、宮崎、高知といった西南暖地中心の入荷となる。入荷が不安定で高値が続く見込み。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>					
ばれい	23年	2,423	101	97	106	99	北海道 91%
	24年	2,484	82	81	80	86	長崎 9%
	25年	2,649	100	99	107	98	
	26年	2,706	88	90	92	85	
	27年	2,685	97	99	99	98	
い	5カ年平均	2,589	94	93	97	93	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	2,300	120	130	110	110	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道から入荷する。8、9月の台風、大雨の影響で品質、玉肥大ともに良くない。サイズはL、M中心。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
たまねぎ	23年	5,127	82	90	85	87	北海道 99%
	24年	5,256	66	68	67	67	0 0%
	25年	4,774	109	109	116	121	
	26年	5,908	77	81	80	78	
	27年	6,159	68	73	71	69	
ね	5カ年平均	5,445	79	83	83	83	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	6,000	70	70	70	70	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道からの入荷となる。そのうち7割が北見地区。台風被害で玉ねぎが大打撃を受けたような報道があったが、心配はない。7割が2Lサイズでできれば良い。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	23年	1,683	268	228	259	326	茨城 56%
	24年	1,919	213	216	202	210	宮崎 19%
	25年	1,751	471	544	472	417	高知 13%
	26年	1,798	304	334	291	289	鹿児島 8%
	27年	1,901	262	292	241	250	岩手 2%
マ	5ヵ年平均	1,810	301	321	291	296	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	1,850	457	520	450	400	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>茨城を中心に宮崎など西南暖地からの入荷が増えてくる。茨城は曇雨天の影響から着果数が少なかったがその後の好天で回復傾向にある。宮崎、高知は中旬頃からまとまった出荷となる見込み。</p> <p>入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
ばいしよ	23年	6,997	111	115	111	108	北海道 98%
	24年	8,232	87	86	87	88	長崎 2%
	25年	8,433	106	104	106	107	
	26年	7,633	91	91	91	90	
	27年	7,069	98	100	96	97	
い	5ヵ年平均	7,673	98	99	98	98	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	6,500	125	125	125	125	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>北海道からの入荷がほとんどを占める。北海道は台風の影響から小玉傾向で、出荷は前年より大きく下回る見込み。</p> <p>入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
たまねぎ	23年	9,530	91	92	91	90	北海道 97%
	24年	10,967	70	71	70	70	中国 2%
	25年	10,113	117	112	119	120	
	26年	10,767	82	81	81	84	
	27年	9,265	73	75	73	73	
ね	5ヵ年平均	10,128	86	86	87	87	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	9,300	75	75	75	75	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>北海道からの入荷がほとんどを占める。北海道は台風の影響を受けた地域はあったが全体としては生育良好。玉肥大はL大中心と順調で前年並の出荷が期待できる。</p> <p>入荷量は少なかった前年並で、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	23年	12,304	251	243	244	246	岐阜 17%
	24年	12,156	238	233	244	253	静岡 14%
	25年	11,404	283	278	290	292	長野 14%
	26年	11,560	256	238	268	270	フィリピン 11%
	27年	10,847	282	278	285	297	愛知 10%
	5ヵ年平均	11,654	261	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	11,000	260	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>国内の産地は岐阜、静岡、長野中心。みかん、りんご、かき中心に入荷する。一部で着色の遅れが見られるものの、全体的には順調な傾向となる見込み。入荷量は前年並みかやや上回り、価格は前年並みとなる見込み。</p>					
みか	23年	5,005	178	181	197	166	静岡 40%
	24年	4,215	206	212	213	202	和歌山 18%
	25年	4,342	228	231	241	221	愛知 18%
	26年	4,311	167	155	180	167	熊本 10%
	27年	3,709	224	247	220	213	三重 8%
	5ヵ年平均	4,316	199	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	4,000	200	0	0	0	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は、静岡中心で、和歌山、愛知と続く。極早生が終わり、早生の時期となるが着色の遅れから中旬以降にピークとなる。入荷量は少なかった前年をかなり上回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>					
かき	23年	2,329	278	262	285	292	岐阜 72%
	24年	2,792	188	177	200	197	三重 10%
	25年	2,110	285	274	292	294	愛知 8%
	26年	2,416	226	224	236	240	和歌山 7%
	27年	2,491	238	219	245	257	奈良 3%
	5ヵ年平均	2,428	240	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	2,400	230	0	0	0	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は岐阜中心で、三重、愛知、和歌山からも入る。9月以降、日照不足で着色に遅れが見られたものの、台風等の影響もなく、着果は順調なため、10月が少なかった分、11月に本格化する。入荷量、価格ともに、やや下回る見込み。</p>					<p>注：平成27年の4月は入荷無しにつき単価は0円/kgで表記</p>

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果実	23年	45,566	265	257	263	273	愛媛 17%
	24年	49,482	249	237	249	262	熊本 9%
	25年	45,920	291	282	290	299	長崎 9%
	26年	45,734	268	259	267	278	山形 8%
	27年	44,022	296	277	295	316	和歌山 8%
	5カ年平均	46,145	273	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	45,500	290	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>みかん、りんご、かき等が入荷する。9月の日照不足により入荷が遅れる品目が多い状況であったが、天候回復に伴い品薄状態は解消されてくる見込み。りんごは「ふじ」が中心で入荷量は前年を下回り堅調な価格が維持される見込み。 入荷量は前年よりやや多く、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>					
みかん	23年	20,912	209	213	218	199	愛媛 33%
	24年	21,170	231	220	236	235	長崎 19%
	25年	21,812	244	233	251	243	熊本 18%
	26年	20,513	201	193	209	200	和歌山 13%
	27年	20,495	244	246	247	239	静岡 6%
	5カ年平均	20,980	222	215	229	220	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	21,000	240	230	250	240	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛媛、長崎、熊本中心に入荷。極早生から早生に切り替わる。玉肥大は各産地とも順調だが、愛媛、熊本の一部産地では秋口の気温高の影響で着色の進みが遅く、入荷量の増加ペースは遅い。 入荷量は前年よりわずかに多く、価格は前年並の見込み。</p>					
かき	23年	6,577	261	242	266	289	奈良 17%
	24年	9,326	181	183	179	181	岐阜 15%
	25年	7,052	275	279	276	269	福岡 14%
	26年	7,278	213	209	209	229	愛知 14%
	27年	6,776	212	185	226	246	新潟 13%
	5カ年平均	7,402	225	217	227	238	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	28年見通し	6,600	230	210	230	240	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>「平核無」は新潟、「富有」は福岡中心に入荷する。新潟の「平核無」は生育順調で豊作であった前年並みの入荷となる見込み。福岡の「富有」は9月天候不良の影響で入荷が遅れていたものの、品質安定し入荷量も回復してくる見込み。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回ると見込まれる。</p>					

切花・鉢花の11月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 10月31日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実 績	23年	1,844	47	
		24年	1,819	44	
		25年	1,713	58	
		26年	1,660	44	
		27年	1,875	37	
	5ヶ年平均	1,782	46		
28年見通し	1,800	40			
概要	<p>愛知、三重、沖縄から入荷する。主力は秋冬品種へと切り替わっていく。一般需要はあまり多い時期ではなく、業務需要が主体となる。</p>				
小 ぎ	実 績	23年	1,000	21	
		24年	731	26	
		25年	788	37	
		26年	808	34	
		27年	980	20	
	5ヶ年平均	861	27		
28年見通し	900	27			
概要	<p>愛知、奈良、沖縄から入荷する。沖縄は台風被害ほとんどなく、順調に出荷が始まる。需要が高い時期でないため、動きは鈍く、10月の高値疲れが心配される。</p>				
カ ー ネ ー シ ョ ン	実 績	23年	1,169	27	
		24年	871	42	
		25年	1,173	39	
		26年	1,024	37	
		27年	1,144	29	
	5ヶ年平均	1,076	34		
28年見通し	1,050	35			
概要	<p>長野、愛知、北海道から入荷する。高冷地産は夏場暑かったため、9月まで前進傾向で、日照も少なかったことから10月は激減した。暖地産は影響少なく、若干少ない程度で11月からは順調な出荷となる。</p>				
か す み	実 績	23年	141	73	
		24年	120	111	
		25年	148	85	
		26年	157	75	
		27年	175	54	
	5ヶ年平均	148	77		
28年見通し	150	70			
概要	<p>高知、和歌山、熊本から入荷する。高冷地が終了し、暖地産に切り替わる。予想以上に遅れている地域もあり、前半は10月に引き続き少ないが、中旬以降は増えてくる。価格は業務中心の販売で前半は高く、中旬以降は量次第で落ち着いてくる。</p>				

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	23年	408	159	
		24年	122	122	
		25年	335	172	
		26年	292	158	
		27年	307	152	
	5ヶ年平均		293	157	
	28年見通し		300	155	
概要	<p>オリエンタルは高知、新潟、宮崎、埼玉、静岡などから入荷する。前半は入荷少なく、中旬以降増えてくる。LA、鉄砲ユリは少なめの入荷。特に鉄砲ユリは昨年より少ない。価格は業務中心の販売で不安定な動きとなる。</p>				
洋らん	実績	23年	529	68	
		24年	518	77	
		25年	488	96	
		26年	490	75	
		27年	499	62	
	5ヶ年平均		505	75	
	28年見通し		500	70	
概要	<p>愛知、鹿児島、高知、徳島、輸入等から入荷する。天候不順の影響はある程度回復して、高値で推移していた物が落ち着いた市況となってくるだろう。カトレア、胡蝶蘭の入荷量は増え、シンビは輸入品から国産品に移行してくる。</p>				
ばら	実績	23年	985	78	
		24年	997	85	
		25年	940	90	
		26年	838	85	
		27年	817	77	
	5ヶ年平均		915	83	
	28年見通し		820	80	
概要	<p>愛知、三重、和歌山、岐阜主体に入荷する。輸入が少なくなり、全体的には多くない状況が続く。中旬以降は国内産が増加傾向となり、入荷量も回復してくる。</p>				
枝も	実績	23年	880	54	
		24年	1,786	43	
		25年	1,702	47	
		26年	1,550	44	
		27年	1,469	45	
	5ヶ年平均		1,477	46	
	28年見通し		1,500	45	
概要	<p>静岡、長野、岐阜中心に入荷する。実物は少なく、引き合いは強そう。枝物は日持ちするため、使用日数も長く、弱含み。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ドラセナ類	実績	23年	15,362	773	
		24年	16,465	789	
		25年	12,952	856	
		26年	11,524	782	
		27年	11,889	815	
	5ヶ年平均		13,638	802	
	28年見通し		12,000	808	
概要	<p>入荷量は昨年並みもしくはやや減少か。愛知産が中心で輸入原木の減少から入荷も減る見込みだが相場は安定すると思われる。サイズは7~8号が中心で大鉢は少ない見込み。昨年11月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知県(66.2%)、2位鹿児島(17.0%)、3位三重(5.4%)となっている。</p>				
シヤコバサボテン	実績	23年	54,817	460	
		24年	49,694	415	
		25年	38,706	424	
		26年	36,572	404	
		27年	35,681	435	
	5ヶ年平均		43,094	430	
	28年見通し		36,000	431	
概要	<p>愛知を主に入荷。関東の生産量減、荷主減の影響で、昨年より大幅減少すると思われる。サイズとしては5~6号が減少の見込み。価格は、入荷量の減少に伴いやや上向きと予想。昨年11月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(82.2%)、2位埼玉(15.1%)、3位静岡(1.5%)となっている。</p>				
シクラメン	実績	23年	717,401	272	
		24年	814,870	280	
		25年	866,458	276	
		26年	850,000	271	
		27年	806,976	282	
	5ヶ年平均		811,141	276	
	28年見通し		800,000	283	
概要	<p>入荷量は昨年に引き続き、天候不順による出荷の出遅れの影響で、昨年よりやや減少すると思われる。中旬以降より入荷は増え始め、下旬頃には出荷のピークとなる。価格は、天候次第ではあるが昨年並みに推移すると予想。昨年11月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(35.5%)、2位長野(24.3%)、3位岐阜(4.5%)となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
シンビジュウム	実績	23年	51,124	2,387	
		24年	57,593	2,447	
		25年	66,499	2,353	
		26年	61,199	2,198	
		27年	60,154	1,980	
	5ヶ年平均	59,314	2,269		
	28年見通し	60,000	1,983		
概要	<p>入荷量は昨年並もしくは若干減少か。昨年が早く開花しすぎたこともあり春先に温度を吹き込まずに12月へとずらしていたが、秋になり温度帯の下がり幅が大きくなり予想以上に生育が進んでいる。11月は売れ行きにより開花調整される生産者の方が多いが満開商品の販売は厳しい状況になり12月にも尾を引くので、随時状態が良いところでの出荷をお願いしたい。</p> <p>昨年11月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位愛知（55.1%）、2位徳島（8.3%）、3位高知（5.2%）となっている。</p>				
カランコエ	実績	23年	35,110	194	
		24年	38,350	179	
		25年	32,012	173	
		26年	33,754	174	
		27年	34,214	150	
	5ヶ年平均	34,688	174		
	28年見通し	34,000	150		
概要	<p>入荷量は昨年並か。出荷ペースがある程度予想されるが、咲き前を整えた商品の引き合いが強く見込まれる予想。</p> <p>昨年11月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位岐阜（61.5%）、2位埼玉（31.0%）、3位茨城（2.7%）となっている。</p>				
パンジー	実績	23年	1,071,742	35	
		24年	1,085,130	49	
		25年	939,240	49	
		26年	990,934	41	
		27年	978,611	43	
	5ヶ年平均	1,013,131	43		
	28年見通し	970,000	43		
概要	<p>入荷量は昨年より減少か。品質は夏の猛暑と秋の長雨で例年より間延びした商品もあるので出始めは少ない見込み。11月に入れば増えてくる予想。作付け数量は昨年より減少しているので価格面では上向きの見込み。</p> <p>昨年11月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位愛知（43.2%）、2位三重（15.7%）、3位奈良（12.8%）となっている。</p>				

全国における主要農林水産物の輸出入実績(2016)

1 輸出実績

品名	8月						8月までの累計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
果実(生鮮・乾燥)	1,528	162.4	1,373,103	163.1	899	100.4	18,853	114	10,086,890	124	535	109
うんしゅうみかん	15	170.9	20,419	178.0	1,392	104.2	269	94	195,120	113	726	108
りんご	144	69.9	85,672	75.6	594	108.2	15,818	111	6,360,330	116	402	108
なし	488	296.5	267,465	296.9	548	100.1	515	227	280,354	228	545	91
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	378,129	101.6	3,696,749	140
緑茶	303	72.8	936,710	85.6	3,087	117.5	2,701	108	7,325,704	117	2,712	98

2 輸入実績

野菜(生鮮・冷蔵)	53,847	107.0	6,427,120	88.0	119	82.3	510,421	92	62,567,394	96	123	104
トマト	714	119.4	243,906	105.4	341	88.3	4,177	98	1,542,703	95	369	97
たまねぎ	25,148	109.1	1,151,432	83.5	46	76.6	179,136	81	10,757,273	92	60	113
にんにく	2,169	107.2	638,827	128.1	295	119.5	13,787	100	3,688,360	121	268	121
ねぎ	4,212	97.1	439,495	70.4	104	72.5	33,265	89	5,238,117	112	157	126
結球キャベツ	977	52.3	25,557	25.4	26	48.5	7,688	45	287,661	36	37	81
ブロッコリー	2,247	135.5	445,978	96.6	198	71.3	14,912	107	3,287,202	91	220	86
にんじん・かぶ	7,342	128.9	221,128	57.4	30	44.5	43,122	89	2,270,386	89	53	100
ごぼう	3,915	102.5	211,558	98.8	54	96.4	29,811	114	1,871,362	121	63	106
えんどう	45	101.3	24,268	109.8	534	108.4	539	90	271,784	108	504	120
アスパラガス	65	69.3	57,259	72.1	878	104.0	5,838	119	4,103,290	107	703	90
まつたけ	207	115.2	869,300	80.2	4,209	69.6	318	151	1,340,325	102	4,211	68
しいたけ	92	105.2	35,122	86.0	380	81.8	1,023	76	370,915	70	363	92
かぼちゃ	1,016	124.7	97,095	101.5	96	81.4	92,797	107	7,467,175	82	80	77
果実(生鮮・乾燥)	138,237	101.2	24,328,422	89.5	176	88.5	1,196,298	102	223,246,912	96	187	94
バナナ(生鮮)	75,069	98.1	8,723,792	98.7	116	100.6	641,232	100	68,797,176	102	107	102
パイナップル(生鮮)	13,402	124.7	1,350,049	140.2	101	112.4	96,604	92	9,476,100	107	98	116
レモン(生鮮・乾燥)	6,496	133.5	1,023,927	121.2	158	90.8	36,731	102	7,530,194	86	205	84
オレンジ(生鮮・乾燥)	9,636	128.3	1,228,929	123.3	128	96.1	79,693	123	11,116,253	109	139	88
グレープフルーツ(生鮮・乾燥)	4,501	44.5	483,746	54.2	107	121.8	65,213	79	8,659,782	86	133	109
メロン(生鮮)	1,884	139.5	190,888	106.6	101	76.4	22,002	120	2,373,403	116	108	97
ぶどう(生鮮・乾燥)	4,217	134.9	1,263,537	107.0	300	79.3	43,272	117	13,271,089	110	307	94
キウイフルーツ(生鮮)	8,134	88.5	2,604,682	83.2	320	94.1	72,471	115	24,861,709	112	343	98
いちご(生鮮)	467	86.2	449,707	71.7	963	83.2	1,284	91	1,243,940	78	969	85
切花(生鮮・乾燥)	4,918	107.6	4,010,111	94.5	815	87.9	26,265	101	23,209,110	94	884	93
鳥獣肉類	168,801	108.3	80,642,565	99.4	478	91.8	1,357,522	108	644,821,807	95	475	88
牛肉(くず肉含む)	38,794	108.2	22,482,463	92.4	580	85.4	331,742	102	189,435,356	83	571	82
豚肉(くず肉含む)	73,937	114.5	38,811,249	112.7	525	98.4	568,958	110	299,354,686	107	526	97
鶏肉	45,985	97.6	9,555,834	67.6	208	69.3	374,327	110	81,314,507	78	217	71
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	130,899	102.2	90,967,102	97.8	695	95.7	1,055,888	97	690,324,099	94	654	96
まぐろ類	16,613	100.2	14,672,266	112.5	883	112.3	138,038	107	124,504,671	98	902	92
さば・さんま・あじ・いわし	4,446	140.8	902,852	109.5	203	77.8	49,018	94	9,699,042	83	198	88

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

※速報値によるデータのため、累計値に誤差がある場合があります。

※表中に使用した符号は、次のとおりです。

- 「 0 」・・・単位に満たないもの
- 「 ... 」・・・事実不詳
- 「 - 」・・・事実のないもの

関 連 指 数

9月号から消費者物価指数については平成27年基準に改定しました。

項目 年月		消費者物価指数 <small>(全国 平成27年=100 愛知県 平成27年=100)</small>				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
全 国	25年 平均	96.6	89.3	88.8	88.5	87.9
	26年 平均	99.2	92.0	92.5	95.3	96.4
	27年 平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	28年 6月	99.9	98.8	105.6	101.6	100.2
	7月	99.6	98.7	102.0	101.8	100.8
8月	99.7	96.1	104.6	101.6	102.7	
愛 知 県	25年 平均	96.5	88.7	88.8	86.4	89.4
	26年 平均	99.1	93.2	93.4	93.6	97.4
	27年 平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	28年 6月	99.8	96.4	104.7	102.5	99.2
	7月	99.4	98.1	101.1	102.4	100.0
8月	99.6	95.9	105.8	103.7	100.7	

項目 年月		農業物価指数(平成22年=100)				
		農産物総合	米	野菜	果実	花き
25年	平均	102.8	112.8	98.7	94.7	95.8
	平均	102.2	98.8	97.8	93.3	95.2
	平均	107.6	88.6	110.4	105.4	103.0
	6月	109.4	93.6	108.6	113.5	85.1
	7月	111.6	93.4	108.4	123.8	88.0
8月	102.2	93.5	89.0	100.2	102.3	

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国…総務省統計局「消費者物価指数月報」
愛知県…愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名古屋市小売価格(円)													
品目 年月	うるち米 (単一品種「コシヒカリ」以外)	キャベツ	はくさい	ねぎ	レタス	ばれいしょ	だいこん	にんじん	たまねぎ	きゅうり	トマト	生しいたけ	りんご(ふじ)
	5kg	1kg										100g	1kg
25年 平均	2,149	156	202	631	499	304	162	367	225	564	652	165	494
26年 平均	1,970	170	190	661	481	321	162	376	276	581	649	161	545
27年 平均	1,855	202	227	691	561	374	175	373	270	623	684	180	563
28年 6月	1,910	170	232	836	398	399	178	425	253	547	598	163	699
7月	1,910	152	215	831	339	453	223	409	290	559	636	156	704
8月	1,892	132	201	789	342	421	195	453	324	559	599	155	…
品目 年月	みかん	グレープフルーツ	オレンジ	いちご	バナナ	キウイフルーツ	緑茶(せん茶)	カーネーション	きく	バラ	牛肉(ロース)	豚肉(バラ※)	まぐろ
	1kg		100g	1kg		100g	1本		100g				
25年 平均	557	300	364	209	216	772	540	157	177	319	810	223	407
26年 平均	584	336	437	174	240	824	533	166	175	336	861	243	428
27年 平均	643	383	477	183	264	886	526	177	177	353	925	228	461
28年 6月	…	392	445	…	271	950	497	179	185	335	933	236	487
7月	…	316	420	…	273	868	495	173	178	334	911	236	477
8月	…	351	414	…	284	917	497	180	195	325	953	244	456

※豚肉は26年12月までロースの価格を示す。

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



いいともあいち運動って知ってる??

- 県内の消費者と生産者が今まで以上にいい友関係になる
- Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)
＝もっと愛知県産品を食べよう (利用しよう)

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えていこうという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート No.521
平成28年11月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6719